

(別記第5号様式)

平成31年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
圏域	印旛 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	成田リハビリテーション病院
重点活動項目評価	<p>1. ちば地域リハ・パートナー向け研修会開催を通じた募集 ⇒専門の研修会は未開催であったが、県通知・他研修会や訪問を通じ、未加入機関にリハ・パートナー制度を説明し参加を募った。前年度19機関が27機関に増加した。9機関加入（大学病院2、一般病院3、診療所2、介護施設2）、1機関脱退（診療所1） 今後の具体的活動を通じ、リハ・パートナー活動の更なる充実を図りたい。</p> <p>2. 各市村での(仮称)療法士連絡会の設立 ⇒医療・介護機関や市村役所に在る療法士のピックアップを行い、設立趣旨の説明を開始した。今後、一層の啓蒙活動を行い、実現を図りたい。</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会（年1回開催） 日時：令和2年2月4日(火) 内容：平成31年度推進事業について報告（小林院長） 令和2年度事業計画策定について 千葉県地域リハビリテーション広域支援センターの役割について （説明:千葉県健康福祉部健康づくり支援課） 意見交換 参加：40名</p> <p>イ その他の会議</p> <p>・印旛地区リハ・パートナー会議 日時：令和2年2月4日(火) 内容：新規パートナー施設紹介 リハ・パートナーの役割について(説明:千葉県健康福祉部健康づくり支援課) 地域活動への取組み紹介（千葉リハビリテーションセンター） 意見交換 参加：23名</p> <hr/> <p>② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <p>・域内9市村の関連部署を訪問し広域支援センター事業案内 ・成田市包括支援センター連絡協議会に参加（2回） （1回目）日時：令和2年1月24日（金）</p>

内容：広域支援センター・リハパートナー活動内容の案内、地域のニーズの収集
(2回目) 日時：令和2年2月28日(金)

内容：災害時のリハビリテーション必要な方への対応
・芝山町連携会議研修会に参加(2名(PT・OT))
日時：令和2年2月13日(木)

内容：広域支援センター活動内容の案内、地域のニーズ収集

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援
・相談窓口の設置(電話・メール)

④ 研修等の実施を通じた協働促進

・日時：令和元年11月12日(火)
内容：「千葉県地域リハビリテーション広域支援センターの役割について」
講師 吉永勝訓氏(千葉リハビリテーションセンター センター長)
地域活動への取り組みについて
参加：125名(対象：医療・介護職)

・印旛圏域地域リハビリテーション研修会
日時：令和2年1月8日(水)
内容：「簡単な神経学的所見のとり方」
講師 小林士郎(成田リハビリテーション病院院長)
参加：80名(対象：医療・介護職)

・印旛圏域地域リハビリテーション研修会
日時：令和2年3月11日(水)
内容：「セラピストのための認知症入門」
講師 吉川百合子氏(成田赤十字病院神経内科部長)
参加：80名予定(対象：医療・介護職)

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧いずれかを記入 ↓
⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑧) 内容：《大学講座への講師派遣(国際医療福祉大学)》(地域内機関へのリハ知識技能提供)

日時：令和元年11月27日(水)
内容：電気刺激の基礎と臨床での使い方

() 内容：

※日時・テーマ・参加人数等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

※開催要領、チラシ、実施結果など、概要がわかるものを添付すること。

※本事業の委託料以外から費用が出ている活動については、事業名と依頼元を《 》でくくって記載すること。例.《〇〇事業(△△市)》

ただし、本事業の委託料と混在している活動を除く。